

2017年度(18年3月期) 第2四半期決算説明会

2017年10月31日
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

本資料に記載されている業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、経済情勢をはじめさまざまな要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。

I 2017年度上期 決算概況

II 2017年度 重点施策進捗状況

III 2017年度 通期業績予想

I 2017年度上期
決算概況

II 2017年度 重点施策進捗状況

III 2017年度
通期業績予想

「増収・増益」

- 2017年度計画達成に向けて順調な進捗。
- 上期決算としては、受注高、売上収益、全ての利益項目、受注残高が統合後最高。
- 売上総利益率、営業利益率も改善。

業績ハイライト（前年同期比）

（億円）

	2016年度 上期	2017年度 上期	増減額	増減率
売 上 収 益	1,758	1,902	+144	+8.2%
売 上 総 利 益 （売上総利益率）	401 (22.9%)	442 (23.3%)	+40 (+0.4p)	+10.1% -
その他の収益及び費用	▲312	▲337	▲24	+7.9%
営 業 利 益 （営業利益率）	88 (5.1%)	104 (5.5%)	+15 (+0.4p)	+17.9% -
当社株主に帰属する 四半期純利益	59	81	+21	+37.1%
受 注 高	1,738	1,946	+207	+12.0%
受 注 残 高	2,063	2,423	+360	+17.4%

-4-

Copyright©2017 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

2017年度上期 業績ハイライト（前年同期比）

【売上収益】

全事業で増加。業種別では主に、流通、通信、公共、公益向けなどで増加。

【売上総利益】

増収及び採算性の改善などにより増益。

※「不採算案件」を除いた売上総利益率は、前年同期比 +0.3pts改善。

【その他の収益及び費用】

人件費、業務委託料、減価償却費などの増加により、販売管理費が増加。

【営業利益】

売上総利益の増加により増益。

【当社株主に帰属する四半期純利益】

営業利益の増加に加え、金融収益、関係会社の株式売却益などにより増益。

【受注高】

通信、金融向けなどで増加。

【受注残高】

上記に加え、流通、公益向けなどで増加。

事業グループ別実績

(億円)

	受注			売上			受注残		
	2016年度 上期	2017年度 上期	前年 同期比	2016年度 上期	2017年度 上期	前年 同期比	2016年度 上期末	2017年度 上期末	前年 同期比
流通・EP	472	482	+9	526	563	+37	674	789	+115
情報通信	623	687	+63	573	613	+39	568	699	+130
公共・広域	189	181	▲7	148	183	+34	340	303	▲36
金融・社会 インフラ	183	326	+143	239	271	+31	365	488	+123
その他	268	268	+0	270	272	+1	115	142	+26
連結	1,738	1,946	+207	1,758	1,902	+144	2,063	2,423	+360

-5-

Copyright©2017 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

事業グループ別実績（前年同期比）

【流通・EP】

受注は流通向け製品、運輸向けサービスなどが増加。

売上は流通向け開発や製品などが増加。

【情報通信】

受注、売上共に通信向けネットワークなどが増加。

【公共・広域】

受注は前年同期の公共向けネットワークが減少するも、公益向けインフラ案件などが増加し、概ね前年同期並み。

売上は公共向けネットワークなどにより増加。

【金融・社会インフラ】

受注は金融向けインフラや公益向け運用などが増加。

売上は公益向けインフラなどが増加。

【その他】

受注、売上共に前年同期並み。

ビジネスモデル別実績

(億円)

	受注			売上			受注残		
	2016年度 上期	2017年度 上期	前年 同期比	2016年度 上期	2017年度 上期	前年 同期比	2016年度 上期末	2017年 上期末	前年 同期比
サービス	626 (36.0%)	687 (35.4%)	+61	798 (45.4%)	810 (42.6%)	+12	1,391 (67.4%)	1,555 (64.2%)	+164
開発	435 (25.0%)	455 (23.4%)	+20	367 (20.9%)	414 (21.8%)	+46	275 (13.3%)	310 (12.8%)	+35
製品	676 (39.0%)	802 (41.3%)	+125	592 (33.7%)	678 (35.6%)	+85	397 (19.3%)	557 (23.0%)	+160
連結	1,738	1,946	+207	1,758	1,902	+144	2,063	2,423	+360

※表のカッコ内は、構成比率

-6-

Copyright©2017 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

ビジネスモデル別実績（前年同期比）

【サービス】

受注は金融や公益向け運用などが増加。

売上は通信向け保守や製造向け運用などが増加。

【開発・SI】

受注は金融向けインフラ構築や公益向け運用設計などが増加。

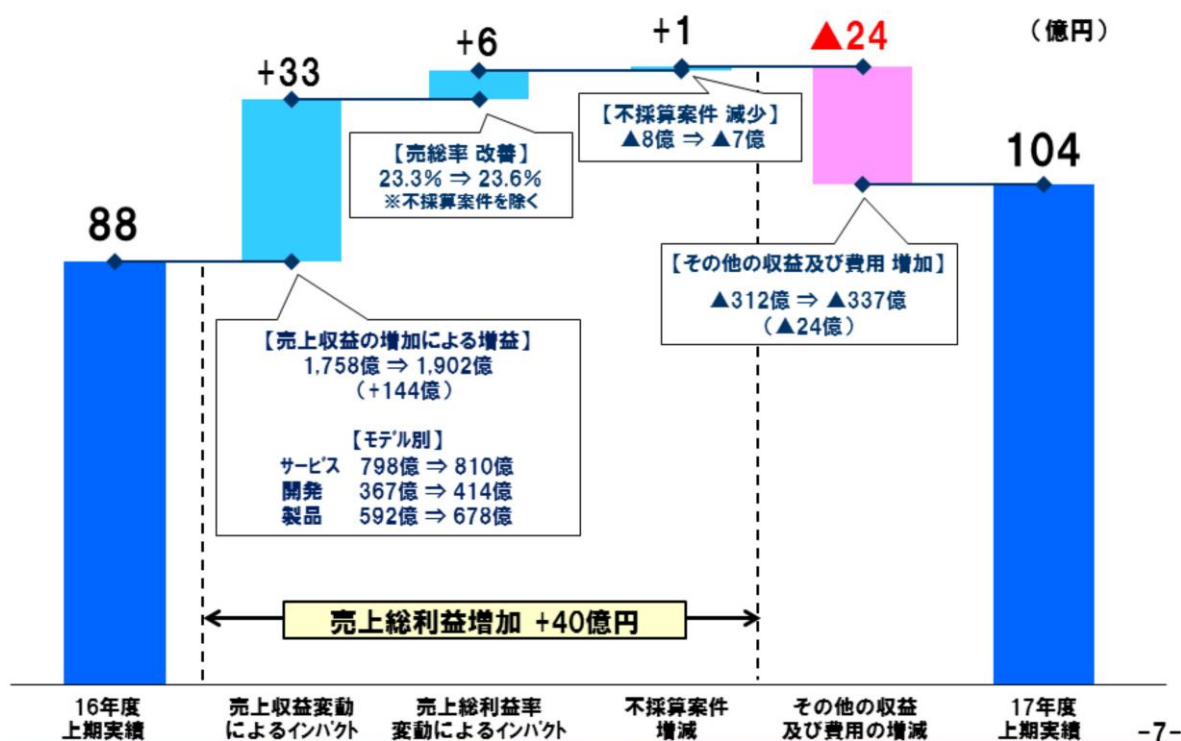
売上は流通や通信向け開発、公益向けインフラ構築などが増加。

【製品】

受注は流通向け店舗関連機器や通信向けネットワークなどが増加。

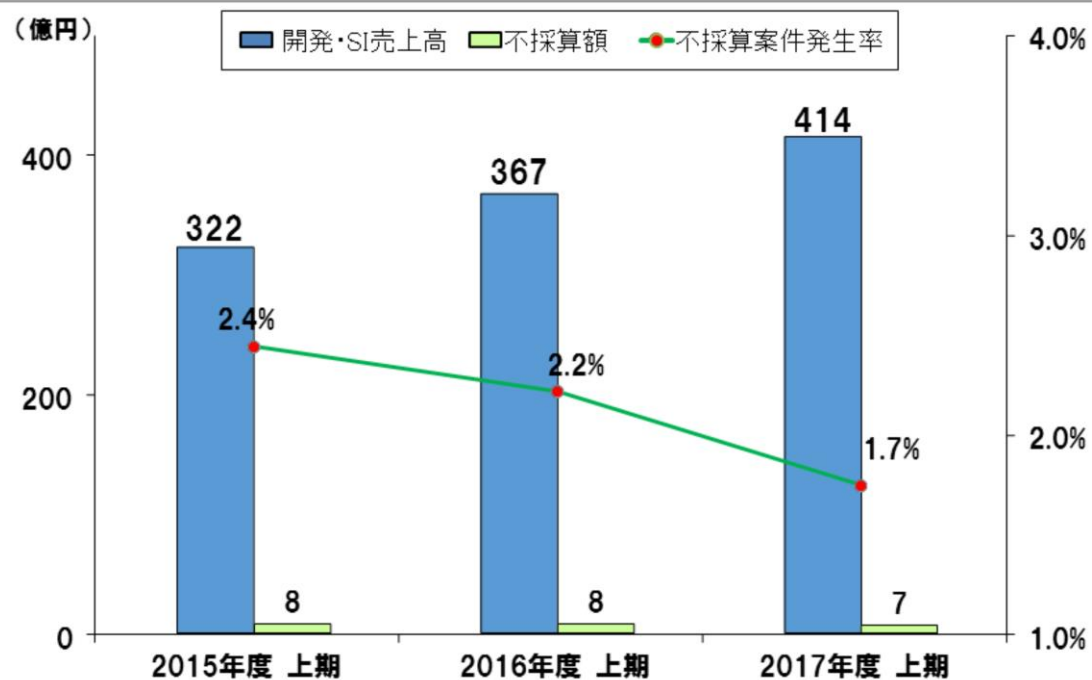
売上は通信や公共向けネットワークや、公益向けサーバ、ストレージなどが増加。

営業利益増減要因（前年同期比）



(参考) 開発・SI売上高と不採算案件

開発・SIの売上高に対する不採算案件発生比率は改善



Copyright©2017 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

(参考) その他の収益及び費用について

(億円)

	2016年度 上期	2017年度 上期	前年 同期比
人 件 費	▲178	▲192	▲13
委 託 社 員 受 入 費	▲29	▲32	▲2
減 価 償 却 費	▲12	▲15	▲3
そ の 他	▲90	▲98	▲8
販売費及び一般管理費 合 計	▲310	▲338	▲27
そ の 他 の 収 益	1	1	+0
そ の 他 の 費 用	▲3	▲0	+2
その他の収益及び費用	▲312	▲337	▲24

-9-

Copyright©2017 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

その他の収益及び費用内訳 (前年同期比)

【人件費】

昇給などによる給与の増加に加え、業績連動賞与が増加。

【減価償却費】

社内の基幹システム更改に伴い増加。

【その他】

主に業務委託料が増加。

業務委託料は社内の基幹システム更改に伴い増加。

(参考) 連結財政状態計算書

(億円)

	2017年3月末	2017年9月末	前年度末比
流動資産	2,501	2,441	▲60
非流動資産	829	790	▲39
資産合計	3,331	3,231	▲99
流動負債	1,216	1,076	▲140
非流動負債	157	164	+6
負債合計	1,374	1,240	▲133
資本合計	1,957	1,991	+34
負債及び資本合計	3,331	3,231	▲99

-10-

Copyright©2017 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

主な内訳

① 流動資産：	▲60
営業債権及びその他の債権	▲171
棚卸資産	+35
その他の金融資産(短期)	▲19
その他の流動資産	+102
② 非流動資産：	▲39
有形固定資産	▲15
無形資産	▲12
繰延税金資産	▲17
③ 流動負債：	▲140
営業債務及びその他の債務	▲131
未払法人所得税	▲66
従業員給付	▲37
その他の流動負債	+100
④ 非流動負債：	+6
長期金融負債	+8
⑤ 資本：	+34
利益剰余金	+31

(参考) 連結キャッシュ・フロー

(億円)

	2016年度 上期	2017年度 上期	前年同期比
現金及び現金同等物の期首残高	448	482	+33
営業活動によるキャッシュ・フロー	50	4	▲45
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲111	12	+123
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲43	▲25	+17
現金及び現金同等物の期末残高	344	475	+130
フリー・キャッシュ・フロー	▲60	16	+77

-11-

Copyright©2017 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

主な内訳

① 営業活動によるキャッシュ・フロー：	▲45
税引前四半期利益	+30
関係会社損益のキャッシュ・フロー調整	▲11
営業債権及びその他の債権の増減額	▲61
棚卸資産の増減額	+35
営業債務及びその他の債務の増減額	+18
その他	▲32
法人所得税の支払額	▲27
② 投資活動によるキャッシュ・フロー：	+123
有形固定資産の取得による支出	+11
無形資産の取得による支出	+21
預け金の純増減額	+80
関係会社株式の売却による収入	+7
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー：	+17
セール・アンド・リースバックによる収入	+25
配当金の支払額	▲5

(参考)2017年度Q2(7-9月)業績ハイライト

(億円)

	2016年度 Q2	2017年度 Q2	増減額	増減率
売 上 収 益	934	1,042	+108	+11.6%
売 上 総 利 益	220	247	+26	+12.0%
(売上総利益率)	(23.7%)	(23.7%)	(+0.0p)	-
その他の収益及び費用	▲151	▲169	▲18	+11.9%
営 業 利 益	69	77	+8	+12.1%
(営業利益率)	(7.4%)	(7.4%)	(+0.0p)	-
当社株主に帰属する 四半期純利益	46	60	+13	+29.3%
受 注 高	951	1,109	+157	+16.5%
受 注 残 高	2,063	2,423	+360	+17.4%

-12-

(参考)2017年度Q2(7-9月)
事業グループ別/ビジネスモデル別実績



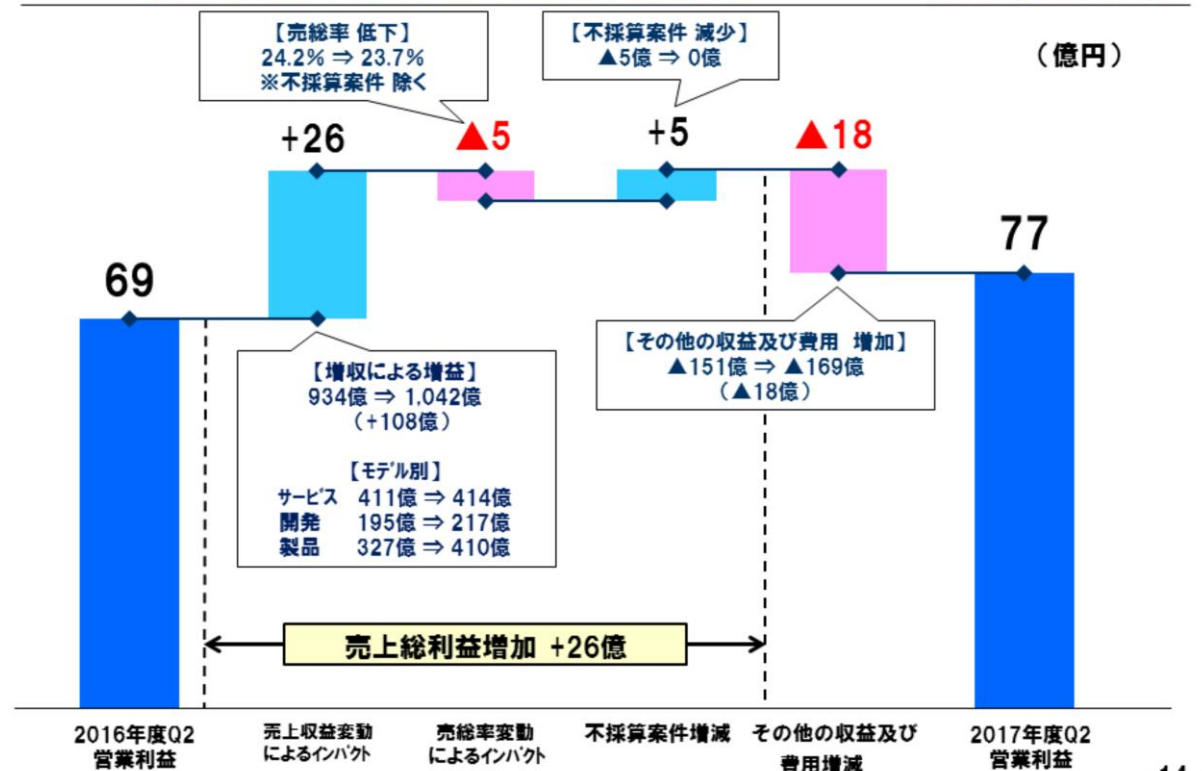
(億円)

		受注			売上		
		2016年度 Q2	2017年度 Q2	前年同期比	2016年度 Q2	2017年度 Q2	前年同期比
事業グループ別	流通・EP	277	251	▲26	271	308	+36
	情報通信	337	384	+46	319	345	+25
	公共・広域	82	93	+11	75	107	+32
	金融・社会 インフラ	115	210	+94	127	144	+16
	その他	138	169	+30	139	136	▲3
	連結	951	1,109	+157	934	1,042	+108
ビジネスモデル別	サービス	332	378	+46	411	414	+3
	開発	245	259	+14	195	217	+21
	製品	374	470	+96	327	410	+83
	連結	951	1,109	+157	934	1,042	+108

-13-

(参考)2017年度Q2 (7-9月)
営業利益増減要因 (前年同期比)

(億円)



(参考)2017年度Q2(7-9月)
その他の収益及び費用 内訳



(億円)

	2016年度 Q2	2017年度 Q2	前年 同期比
人件費	▲86	▲94	▲7
委託社員受入費	▲15	▲16	▲0
減価償却費	▲5	▲9	▲3
その他	▲44	▲50	▲5
販売費及び一般管理費 合 計	▲152	▲170	▲17
その他の収益	0	0	+0
その他の費用	▲0	▲0	▲0
その他の収益及び費用	▲151	▲169	▲18

-15-

I 2017年度上期
決算概況

II **2017年度 重点施策進捗状況**

III 2017年度
通期業績予想

(再掲) 2017年度経営方針

(億円)



結

「3つのシフト」の継続

- ◆ クラウドインテグレーション力の強化
- ◆ 保守、運用、BPOの新展開
- ◆ ASEANにおける事業領域拡大

上期トピックス

- ・ CUVICmc2の契約数 累計18社/20件
(17年度上期契約数 7社/8件)
- ・ ヘルプデスク子会社(CTCFC)をベルシステム24との合併に
- ・ インドネシア拠点設立

参考) クラウドサービス売上

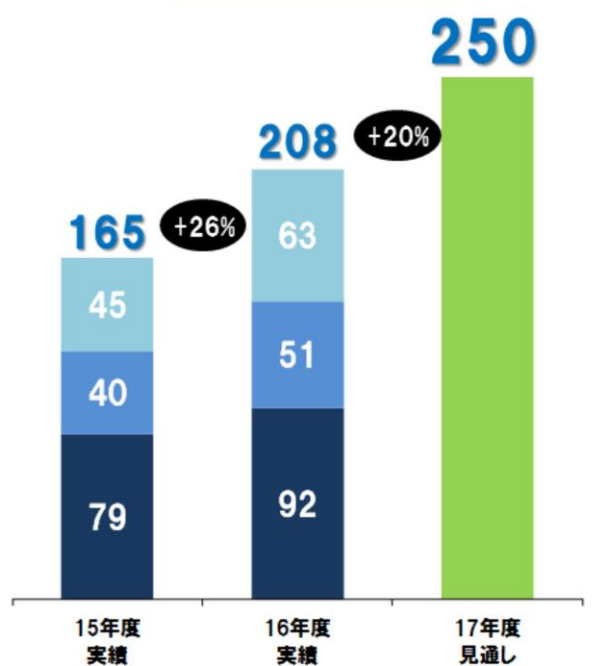
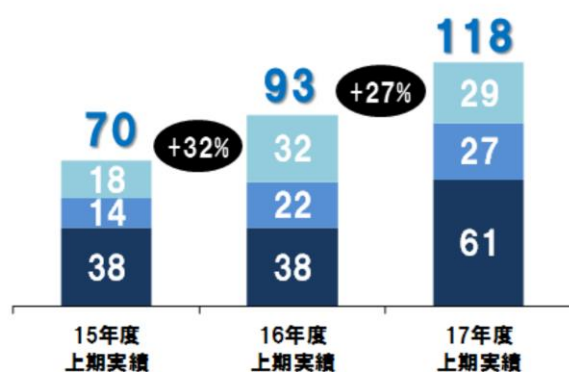
上期

通期

(億円)

- パブリッククラウド (IaaS/PaaS)
- パブリッククラウド (SaaS)
- プライベート

※●内は前年成長率



序

「新分野・未来技術」
への注力

- ◆ SDN、NFV ⇒ 5G
- ◆ SAP + CUVICmc2
- ◆ 「未来技術研究所」始動

上期トピックス

- ・アビームコンサルティングとクラウド分野で協業
(ABeam Cloud on CUVICmc2 提供スタートへ)
- ・「CTC Future Factory」スタート
- ・AI活用の総合支援体制を構築

未来技術研究所発「CTC Future Factory」が 提供する4つの機能

Space

- ・ 企業イノベーターのための
ワーキングスペース
- ・ スタートアップ、アクセラレータの常駐
- ・ 開発基盤(クラウド、AI、IoTなど)



Engineering

- ・ アジャイル、スクラム開発を駆使した
PoC支援
- ・ 共同プロトタイプ開発
- ・ 先端技術ハンズオン
- ・ アイディアソン、ハッカソン



Producing

- ・ ビジネスパートナーのマッチング
- ・ ベンチャーキャピタルのマッチング
- ・ スタートアップ、アクセラレータによる
アドバイス

Community

- ・ イノベーターのためのコミュニティ運営
- ・ 異業種交流イベントの運営
- ・ マーケットリサーチ(人的ネットワーク)



**推進
組織**

AIビジネス推進部 [新設]

AIソリューション拡充 / AIビジネス開拓 / 人材育成

**開発
基盤**

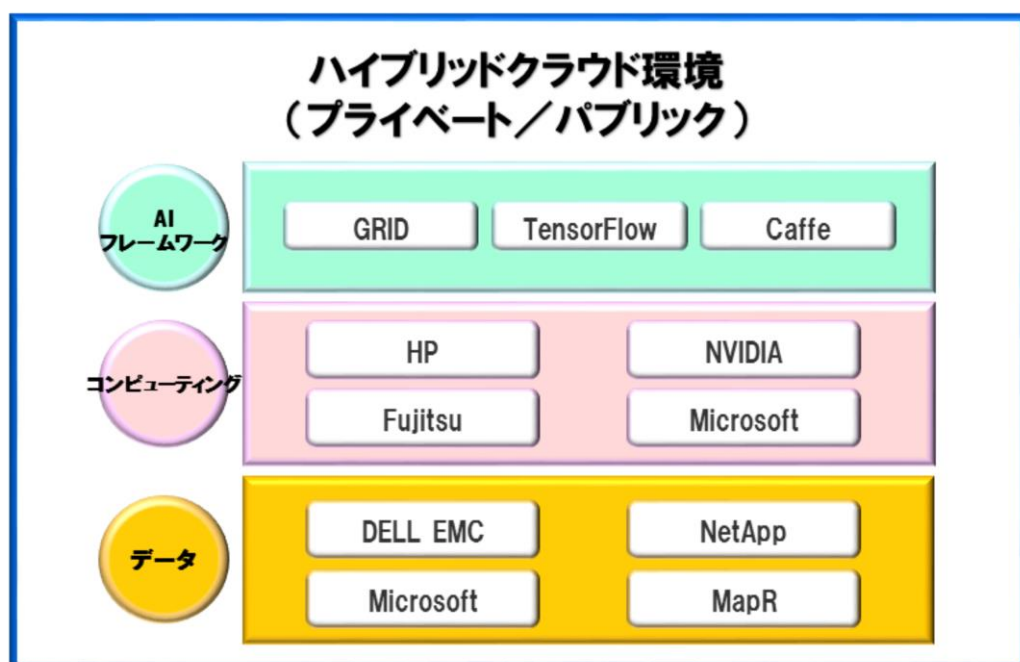
CTC Integrated AI Platform Stack [発表]

AIフレームワークを組み合わせた検証済みプラットフォーム

<TOPIX>

- ◆米NVIDIA社のAIスーパーコンピュータ“DGX-1”の取り扱い開始
- ◆「NVIDIA Partner Network」のディープラーニング分野で国内初
パートナー認定“Deep Learning Competency”取得

ハイブリッドクラウド環境上にAI開発に必要な機能を整備



1

タイ事業会社(Netband)を子会社化し
CTC Global (Thailand) Ltd.に

2

「DEJIMA」を起点として
オープンイノベーションを創出

3

「CTC ESPA」でSDN/NFVを
エンタープライズ企業に本格導入

参考) オープンイノベーションスペース DEJIMA

2017年10月 オープン

～ お客様とともに
アイデアを形に変える場所 ～



-25-

I 2017年度上期
決算概況

II 2017年度 重点施策進捗状況

III 2017年度
通期業績予想

期初公表値から変更無し

(億円)

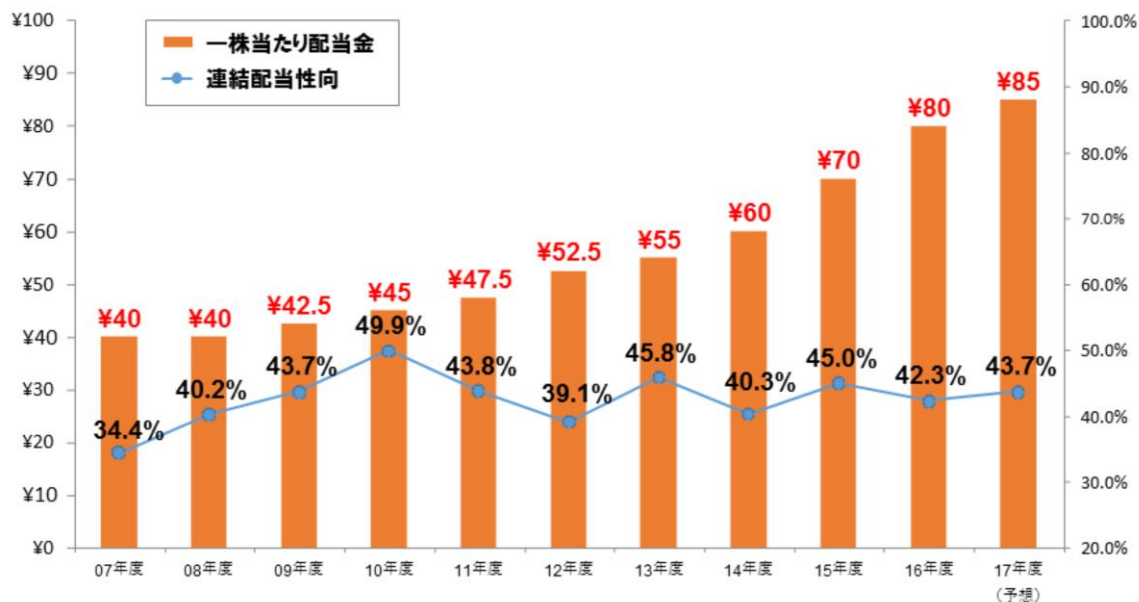
	2016年度 実績	2017年度 業績予想	前年比	増減率
売上収益	4,078	4,250	+171	+4.2%
売上総利益	967	1,010	+42	+4.4%
(売上総利益率)	(23.7%)	(23.8%)	(+0.1p)	-
その他の収益及び費用	▲655	▲685	▲29	+4.4%
営業利益	311	325	+13	+4.4%
(営業利益率)	(7.6%)	(7.6%)	(+0.0p)	-
当社株主に帰属する 当期純利益	218	225	+6	+2.9%
受注高	4,375	4,300	▲75	-1.7%
受注残高	2,380	2,430	+49	+2.1%
ROE	11.8%	10%超	-	-

-27-

株主還元予定

安定的かつ業績連動を意識した配当を実施。(配当性向40%を目安)

・ 2017年度:通期配当予想 85円 ⇒ 配当性向 43.7%



「答えは、CTC。」

